

事業実績評価(平成28年度分)

<掲載事業について>

ページ	事業名	区分
1	消防団員の確保	総合計画 1-1-(3)
2	汚水処理施設の整備	総合計画 2-3-(5)
3	確かな学力の定着を図る教育の推進	総合計画 4-2-(3)
4	特色ある「瑞穂農業」の促進	総合計画 5-1-(1)
5	公共施設等の適正管理	総合計画 共-1-(4)
6	歳入の確保	総合計画 共-2-(3)
7	民間施設（ボウリング場）を活用した地域活性化拠点（小さな拠点）強化事業	総合戦略
8	「圏域応援ステーション」 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
9	広域公共交通ランドデザイン策定によるまちの賑わいの創出事業	総合戦略
10	公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
11	ICT活用による地域ケアネットワーク・地域包括ケアネットワーク構築事業	総合戦略

<自己評価の選択肢について>

高い	目標達成に非常に効果的であった
↑	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
↓	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

瑞 穂 市

1.安全で安心して暮らせるまち

1-1.治水・防災

諮問事業(H28年度実施分)

1-1-(3).消防団員の確保

所管

総務課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(3)安心な生活環境の確保

施策の内容
 ・団員の高齢化や減少を踏まえて、多様な団員を確保します。

主な事業
 団員確保対策(P R事業等)の実施【創】 【重】
 関係機関への協力依頼
 女性・学生消防団員の募集

年度別実施計画	28年度(実績)		29年度(計画)		30年度(計画)	
	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)	
●新分団(第7分団)の創設	75,678					
●消防団員入団勧奨PR(イベント出店、啓発)【創】	485	●消防団員入団勧奨PR(イベント出店、啓発)【創】	567	●消防団員入団勧奨PR(イベント出店、啓発)【創】	【調】	

目標指標		単位	現状値(計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
団員数維持・拡充【創】		人	220	254	257	257

自己評価
 目標達成に相当程度効果があった
 平成28年度において、女性消防班の設立等により団員数を伸ばすことができた。今後もイベントなどの機会を捉えたチラシ等の啓発資材の配布、HPによる団員募集など多種多様な団員確保対策を実施していきたい。

外部評価(担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 コメントは別紙のとおり
 総合計画 1

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合計画	消防団員の確保	担当課	総務課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性消防班の設置は、非常に有意義である。 ・ 団員を増やすのは難しい事と思うが、団員数が増加している。 ・ 女性消防班ができたことにより、確実に団員が増えているので有効だと思う。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な団員の確保としては、女性団員の確保のみで、並行しての団員確保の動きや学生団員の動きもみえてこない。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サラリーマンが増えており、集まりにくい実情がある。 ・ 市民の安全安心のため団員確保に努力が必要である。 ・ 条例定数を満たすよう、一層の団員確保対策を求めたい。 ・ 名古屋方面では、大学単位の学生消防団があるのとの事。朝日大学の学生の方々に参加頂くしくみ作りはいかがか。⇒将来的に団員の確保対策の一つとして検討している。 		
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元建設業者との協定締結が必要ではないか？ ⇒社員が消防団員、社員の消防団活動への配慮、災害時の消防団への協力等の要件に当てはまる事業所に対して、消防団協力事業所として認定し、表示証を交付している。このことにより、サラリーマンであっても消防団活動がしやすい環境作りに努めている。 ・ 災害時の製品の分配方法は？ ⇒（災害時救援物資の避難所等への配送と解釈して回答）職員、ボランティア、運送業者等と協力して実施する予定。 ・ 消防団員の数はどれだけ満たせば良いのか？ ⇒条例で定められた定数を満たすことが目標である。 ・ 目標値の団員数は適正か？ ⇒現時点においては、適正と考えている。 		

2.便利で快適に暮らせる美しいまち

2-3-(5).汚水処理施設の整備

2-3.上水道・下水道

諮問事業(H28年度実施分)

所管

下水道課・環境課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 -

施策の内容
 ・公共下水道区域を拡大します。また、下水道未供用区域については、浄化槽の設置を促進します。

主な事業
 公共下水道事業【重】
 浄化槽設置整備事業

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
				●下水管渠調査設計	167,400	●下水管渠調査設計
					●下水管渠工事	【調】
●浄化槽設置整備補助	82,061	●浄化槽設置整備補助	112,778	●浄化槽設置整備補助	112,778	

目標指標		単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
汚水処理人口普及率		%	54.1	56.7	59.1	70
下水道人口普及率		%	8.1	7.8	8.1	14

自己評価
 目標達成に効果があった
 汚水処理人口普及率は、目標達成に向け順調に伸びている。単独処理浄化槽や汲便槽から合併浄化槽等への切り替えにより生活排水の直接放流を減らし、河川等の水質保全につなげることができた。

外部評価
 (担当課記入不要)
 目標達成に有効とは言えない
 コメントは別紙のとおり
 総合計画2

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合計画	汚水処理施設の整備	担当課	下水道課・環境課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・最優先で進めるべき事業である。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・財政の問題、また色々な事情もあるが、むしろ目標が低すぎた印象がある。 ・人口増加による影響を数値が受けやすい側面はあるとはいえ、全般的に事業進行が遅い。 ・事業費補助があるかわりに、公共下水道区域の拡大スピードが今ひとつである。 ・行政人口の増により率が上がっているだけで、実際の整備が進んだとは言えない。 ・全国の都市でも一番遅い。 ・議会・行政の怠慢と言うほかない。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々の生活の基本インフラ事業である事を肝に銘じて取り組む必要がある。 ・他の地方公共団体に比して大きく劣後しているため、処理場の問題を大きく動き出せるのかがポイント。 ・きれいな水の町にできないか。 ・100%実施済みの北方町を見習う必要がある。 ・公共下水道の推進をし、下水道人口の普及率を高める <p><KPI（目標指標）について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標の意識を高くした方が良い。 		
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を流れる河川の水質状況は？ ⇒市内の主要7河川について、年4回の水質検査を実施している。近年の結果は、犀川、五六川、糸貫川では、横ばい又は改善傾向で、中川、天王川、宝江川、新堀川については、横ばい又は悪化の傾向がみられる。 		

4.夢あふれ希望に満ちたまち

4-2.学校教育

諮問事業(H28年度実施分)

4-2-(3).確かな学力の定着を図る教育の推進

所管

学校教育課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標1-(3)教育力の向上

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の生きる力の基盤となる基礎的基本的な知識や技能、思考力や判断力、学ぶ意欲を身につける教育を一層充実します。 						
	主な事業 学力向上推進事業【創】【重】						
年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)	
	●学力向上推進教師に対する研修会	0	●学力向上推進教師に対する研修会	0	●学力向上推進教師に対する研修会	0	
	●学校訪問等による授業参観、教員への直接指導	0	●学校訪問等による授業参観、教員への直接指導	0	●学校訪問等による授業参観、教員への直接指導	0	
	●各校研究実践の公表会、発表会の実施	0	●各校研究実践の公表会、発表会の実施	0	●各校研究実践の公表会、発表会の実施	0	
目標指標			単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
【全国学力テスト(質問紙調査)】学校に行くのが楽しいと思える児童生徒の割合【創】：小6			%	84.7	85.2	90	95
【全国学力テスト(質問紙調査)】学校に行くのが楽しいと思える児童生徒の割合【創】：中3			%	77.8	81.2	80	85
自己評価	目標達成に効果があった	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の学校訪問、2学期の公表会・研究発表会を節目として、各学校が基礎的基本的な知識や技能、思考力や判断力、学ぶ意欲を身に付けることができる授業を目指し、実践を重ねることができた。 2学期の公表会・研究発表会では、1学期の市教委からの指導助言を生かして授業を公開することができた。(特に、若手教員に対する放課後等の個別指導では、継続的に行うことで伸びの見届けも行うことができた。) 					
外部評価 (担当課記入不要)	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり 総合計画3					

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合計画	確かな学力の定着を図る教育の推進	担当課	学校教育課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・実績数値が改善されている。 ・指数が順調に伸びている。 ・わかりやすい授業をすれば学力もあがり、学校も楽しいと思える。 ・数値への表れは、若手教師の教育の賜物である。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導、道徳、人命のおもさ等の指導が必要 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の負担について配慮して下さい。 ・「歴史民俗資料館」の設置が必要。地域の歴史文化についても力点を（故郷を愛するため） <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員も元気に楽しく学校に来ていただけるよう継続を望む。 ・若手教員の教育の継続実施をしてもらいたい。 ・若手教員の研修をしっかりと行っていただきたい。 ・今後、いろいろと方策を考えてほしい。 		
	主な質疑と それに対する回答			

5.活気あふれる元気なまち

5-1.農業

諮問事業(H28年度実施分)

5-1-(1).特色ある「瑞穂農業」の促進

所管

商工農政課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標2-(3)農業の振興

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「富有柿発祥の地」の積極的なPRや新商品開発・ブランド化を図ります。 ・学校給食における地元農産物の利用等、地産地消を推進し、食育推進による食料自給率の向上を通じた地域の活性化を促進します。
-------	---

主な事業	(仮)PRサイトの構築事業【創】【重】 (仮)瑞穂ブランド創出事業【創】【重】 地産地消推進事業
------	--

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	●PRサイトの構築	0	●学校給食地産地消推進事業補助	1,400	●学校給食地産地消推進事業補助	1,400
●富有柿を利用した新商品開発	19,492の一部					
●学校給食地産地消推進事業補助	824					

目標指標		単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
新瑞穂ブランド開発数【創】		件	-	1	1	1

自己評価	目標達成に非常に効果的であった	富有柿発祥の地である、富有柿を利用した新商品開発として、富有柿を使ったパンのアイデアレシピを募集し、40を超える応募があった。その中から入賞した3レシピを市内ベーカリーショップに配布し6店舗で「ふゆーぱん」として商品化していただき、一斉に各店舗で販売を行い一定の効果を得た。地域に定着したブランドとなれるよう、引き続きPR活動や各方面へ普及活動を実施したい。 学校給食において、地元産農産物をはじめとする安心・安全な農産物を積極的に活用することにより食料推進による自給率の向上を通じた地域の活性化の促進を行うことができた。
------	-----------------	--

外部評価 (担当課記入不要)	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり 総合計画4
-------------------	-------------	----------------------

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合計画	特色ある「瑞穂農業」の促進	担当課	商工農政課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発が順調に進んでいる ・ブランド化が新商品（パン）で進んでいる。 ・目標数値はクリア出来ている。 ・目のつけどころも良いと思う。 ・アイデアが実際のパン屋さんで販売されるところまでつながっていることは、ブランド化の一步として良い。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・富有柿のブランド化及び消費拡大に直結しているといえるだろうか。 ・市内生産の柿の確保までも考えないと打ち上げ花火に終わってしまう。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食農教育は、一定の効果はある。書籍は有用である。 ・道の駅の設置により積極的にPRをすべき。 ・耕作放棄地を利用し、地元農産物の生産を強化し利用度を高め農業を活性化していく。 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を更に推進してもらいたい 		
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・富有柿の本の発行はいつ予定しているか？またどのように配布、活用を予定しているか？ ⇒「富有柿発祥の地 瑞穂市」の本については、柿振興会が編集委員会を立ち上げ、大学の先生、県の普及課と市の職員がオブザーバーとして参加し、来年度の完成を目指し進めている。配布については、まずは柿振興会の会員、その他には図書館や学校へ、その後は一般への販売も視野に入れている。 ・柿ジュース（缶）等の開発は出来ないか？ ⇒柿ジュースについては、技術的には可能かと思われるが、缶ジュースの製造・販売になると設備投資、委託生産、最低生産量に問題が残るため、実際の製造は難しいと考えている。 		

共.持続可能な都市経営のまち

共-1.行政運営

諮問事業(H28年度実施分)

共-1-(4).公共施設等の適正管理

所管

企画財政課、管財情報課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 -

施策の内容
 ・公共施設の老朽化の状況や人口減少・少子高齢化が進む現状を踏まえ、今後の公共施設のあり方を検討するとともに、長期的視点に立った計画的改修や長寿命化等による財政負担の軽減を図り、総合的な管理を推進します。

主な事業
 公共施設等総合管理計画推進事業【重】

年度別実施計画	28年度(実績)		29年度(計画)		30年度(計画)	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
●公共施設等個別管理計画策定支援業務	7,478					
●公共施設等再編計画の起草	0		●公有施設適正化計画の策定	4,500	●公有施設適正化計画の推進	【調】
●公有財産管理システムの更新	2,894		●公有財産管理システムの更新	2,996	●公有財産管理システムの更新	【調】
			●施設の長寿命化のための計画的な修繕等(業南庁舎、火葬場、市営住宅、橋りょう、本田小、幼稚園、業南公民館、給食センター、図書館)	666,753	●施設の長寿命化のための計画的な修繕等	【調】

目標指標		単位	現状値(計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
公共施設(建物系)総延床面積の縮減		%	-	-0.12	3.75	7.5

自己評価
 目標達成に非常に効果的であった
 平成28年度、瑞穂市建物系公共施設個別施設計画を策定し、各施設の今後の方向性を示した。当該計画では、施設の建替えや長寿命化について触れており、今後、適正化を進めるに於ける基準になるものと考えている。
 なお、平成28年度の延床面積が増加となった要因は、消防団第7分団車庫兼詰所の新築によるものである。

外部評価(担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 コメントは別紙のとおり
 総合計画5

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合計画	公共施設等の適正管理	担当課	管財情報課 企画財政課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・調査報告が行われ、今後の事業方針を作成したことは成果である。 ・洗い出しが終わった。 ・具体的な計画が出来ている。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利用方法を充実させること。 ・よく考えて事業推進 		
	提案・要望点	<p><事業の内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクラップアンドビルド不要な施設（本田団地内の警察官官舎等）の撤去・有効活用 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の具体化が重要である。 ・今後に期待。 		
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団第7分団新築を除いた数値（総延床面積の増減率）はどの程度か？ ⇒0.05%の増 ・地震対策、浸水対策についての検討がなされているか？ ⇒平成26年度に策定された公共施設白書において、耐震化率が92.4%であると報告。浸水対策については、今後施設の統廃合等が実施される際に、検討を行なう。 ・新庁舎用地の確保は？ ⇒平成29年度に、新庁舎建設検討プロジェクトチームを立ち上げ、新庁舎の位置についても検討を行なう。現在のところ、まだ新庁舎の位置の検討には至っていない。 		

共.持続可能な都市経営のまち

共-2.財政運営

諮問事業(H28年度実施分)

共-2-(3).歳入の確保

所管

企画財政課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 -

施策の内容
 ・ふるさと納税や公民連携による事業収入等による新しい歳入源を確保します。

主な事業
 ふるさと納税の推進【重】

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	●ふるさと応援寄付金の奨励	42,893	●ふるさと応援寄付金の奨励	41,000	●ふるさと応援寄付金の奨励	【調】

目標指標		単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
(実績額) ふるさと納税額		千円	2,590	87,668	-	-

自己評価
 目標指標無し
 平成28年4月から寄付金のお礼(記念品等)を贈呈する対象者を拡大するとともに、お礼の記念品等の種類を100品を越える記念品の中から選択できるようした。これにより、寄付金額を大幅に増やすことができた。
 また、事業コスト削減のため配送を原則として日本郵便(株)に集約させることで従来の配送費用を30%程度削減させた。

外部評価
 (担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 コメントは別紙のとおり
 総合計画6

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合計画	歳入の確保	担当課	企画財政課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・歳入が大幅に超過しているのは、事業の成果が大きく出たこととみなせる。 ・施策が上手く効果につながって、浸透してきている。 ・新しい歳入確保という目標は達成している。 ・選べる品が増えることは、納税者にとっては魅力的。 ・今後も着実に伸びていくようお願いしたい。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・目標指標の具体性に欠ける。 ・ふるさと納税だけでは、視点が狭すぎ。 ・人口減少を克服するための具体的な施策の明示が必要。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地開発公社を活用し、企業誘致を積極的に。旧巢南町地区の公共用地取得も考えるべきでは。 ・ふるさと納税以外に税等の滞納者を少なくする方策が必要。(正直者が馬鹿をみないような徴収啓発) ・未使用住宅の改良 ・土地利用を見直し企業誘致を推進し歳入の増加を図る <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる推進を。 		
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・1300万円の歳入増は、他市と比べて多いのか？ <p>⇒平成28年度のふるさと納税に関する現況調査結果によると、瑞穂市の歳入増(寄付受入額－費用－瑞穂市市民税の控除額)1,300万円は県内で17番目の多さであり、比較的多い方であると言える。</p> <p>一方、岐阜県の歳入増の平均額は4,200万円であり、平均と比べると瑞穂市はかなり下回っているように思えるが、全国でも上位の寄付受入額であった美濃加茂市等が平均値を引き上げているため、平均との差が大きくなっていると考えられる。</p>		

総合戦略事業

H28

諮問事業(H28年度実施分)

(H28)O1(民間施設(ボウリング場)を活用した地域活性化拠点(小さな拠点)強化事業)

所管

企画財政課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標4-(2)地域ブランドの創造・魅力向上

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源としてボウリング場を活用することにより、主に若者が集う交流の場づくりを行います。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ①瑞穂市における若者支援・多世代交流支援事業の実施、地域ブランド戦略推進、瑞穂市プロモーション事業の実施 ②地域ブランド戦略の検討、地域ブランド戦略検討会議の運営支援 ③移住促進パンフレットの作成 	

主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ①瑞穂市ブランド創出・魅力向上加速化業務 ②瑞穂市地域ブランド戦略検討会議運営支援業務 ③ちょっと気になるまち岐阜瑞穂移住促進パンフレット作成業務 	<ul style="list-style-type: none"> ①瑞穂市ブランド創出・魅力向上加速化業務委託 16,716千円 ②瑞穂市地域ブランド戦略検討会議運営支援業務委託 1,879千円 ③ちょっと気になるまち岐阜瑞穂移住促進パンフレット作成業務委託 896千円
------	---	--

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> ●民間施設を活用した地域活性化拠点(小さな拠点)強化事業(地方創生加速化交付金事業) ・移住促進多世代交流イベントの開催 ・地域連携多世代交流イベントの開催 ・ボウリングを活用した婚活イベントの開催 	19,492	<ul style="list-style-type: none"> ●婚活イベントの開催 ・多世代交流イベントの開催 ・ふるさと創生大使を活用したPR 	7,900	<ul style="list-style-type: none"> ●瑞穂市ブランド創出・魅力向上業務瑞穂市移住促進業務 	【調】
			<ul style="list-style-type: none"> ●穂積駅周辺でのほづみ夜市開催 	21,000の一部	<ul style="list-style-type: none"> ●穂積駅周辺でのほづみ夜市開催 	【調】

目標指標		単位	現状値(計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
交流拠点利用者総数(イベント参加者・来訪者数)		人/年	8,578	11,533	15,000	-

自己評価	目標達成に効果があった	若者支援・多世代交流事業として、11月にかきドキマーケット、3月に水と緑のマルシェ、10月と2月に婚活事業を実施し、交流人口10,000人を超え、目標を達成できたが、拠点化の施設として使用してきた、岐阜グランドボウルの閉店が決定し、交流の場を失う結果となってしまった。大変残念ではあるが、今までにこの拠点化事業で培ってきた地域人材との連携を活かし、交流事業は継続していきたい。その為、新たな拠点として、他の民間施設に移行が出来ないか協議を開始した。瑞穂市の利便性等をまとめた移住定住パンフレットを制作し、イベント等を通じて幅広くPRできた。
------	-------------	--

外部評価(担当課記入不要)	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり 総合戦略7
---------------	-------------	----------------------

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合戦略	民間施設（ボウリング場）を活用した地域活性化拠点（小さな拠点）強化事業	担当課	企画財政課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流人口が計画値を大幅に超えたのは成果達成とみなせる。 ・ 参加者、来街者数が増加している。 ・ ボウリングから健康スポーツへの移行への期待。 ・ 非常に限られた時間と場所のなかで目標指数に向けて取り組んだと思う。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボウリング場の閉鎖を最初に把握出来ればよかった。 ・ スポーツとしての理解が不十分。 ・ 結果的にボウリング場の立地条件が悪く人が集まらないのではないか。 ・ 瑞穂市には街の顔になる場所（シーン）が欠けている印象がある。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後ボウリングにかわる新たな拠点の創出が課題 ・ 朝大との連携強化 ・ ボウリング場の跡地活用 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の拠点は継続できる場所に。 ・ 「打ち上げ花火」ではなく、継続性を持たせることが課題 ・ 各種イベントの継続を！さらに発展的な計画を！ 		
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出費に対して効果は？ ⇒本事業は、地方創生加速化交付金にて実施。全事業の総来場者数は 11,533 人となり、目標指数の 10,000 人を超え効果があったものと考えている。 ・ ボウリング場にかわる交流拠点はどこになるか？ ⇒民間施設での継続を考え、P L A N T 6 瑞穂店にて計画している。 		

総合戦略事業

H28

諮問事業(H28年度実施分)

(H28)02(一圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業)

所管

企画財政課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標2-(2).商工業の活性化

施策の内容	・多くの方が行き交う瑞穂市の玄関口であるJR穂積駅周辺の空家、空き店舗等を利用した出店等を促進し、活性化を行います。 穂積駅圏域拠点化構想の立案、協議会の設置及び運営の業務、普及推進又はPR活動に関する業務の実施	

主な事業	瑞穂市JR穂積駅圏域拠点化構想推進事業	瑞穂市JR穂積駅圏域拠点化構想推進業務委託 33,000千円
------	---------------------	--------------------------------

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
		●一圏域応援ステーション-穂積駅圏域拠点化構想策定事業(地方創生加速化交付金事業)	33,059	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業 穂積駅周辺街路灯整備	21,000 5,200の一部	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業

目標指標		単位	現状値(計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
穂積駅乗降客数		人	17,606	17,846	19,000	-
就業人口・労働力人口		人	25,343 (H22国調)	26,730	25,000	-
新規出店数		件	0	2	8	-

自己評価	目標達成に非常に効果的であった	昨年度からのJR穂積駅及びJR穂積駅周辺の活性化その他の地方創生事業である「拠点化構想」を策定した他、「ほづみ夜市」の開催や「駅周辺での空き店舗活用」などの取組みを始め、駅周辺の多様な面からの改善案の検討や活性化事業を実施することができた。構想は、20年スパンの長期計画であり、JR穂積駅は市の重要な拠点であることから、平成29年度も地方創生推進交付金を活用して、事業を促進させていく方向である。
------	-----------------	--

外部評価 (担当課記入不要)	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり 総合戦略8
-------------------	-------------	----------------------

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合戦略	—圏域応援ステーション— 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	担当課	企画財政課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・新規出店2店舗は成果である。 ・長期スパンの計画に対して着実に実施できている ・駅周辺の商店の活性化の意見を広く聞いた ・以前より街に活気が出てきた感じがする。 ・夜市について非常に高い盛り上がりであった。 ・本事業にて店舗が開店した結果は、なかなか導き出せない。市及び事業者が高い成果を残したと評価できる。 ・Facebookの更新頻度が高く、事業が進んでいるのが伝わってくる。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の指標数とビジョンへの取組みとのギャップを感じる。 ・単発的イベントだけでなく、構想図各具体策が出てきていない。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の用地確保を積極的に進めなければ実現不可能。 ・駅周辺駐車場所所有者の説得が必要。(地元の地権者の理解が必要) ・地主を主体としたマネジメントプランナーによる強力な組織活動が必要 ・更に努力が必要。 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続性・発展性のある施策の推進が求められる。 ・民間事業者であっても継続できるようにイベント等の連携を通じてバックアップが必要。 		
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイワイ会議や空き家出店など、どのようにPRしているか？ <p>⇒ワイワイ会議や空きスペース出店についてのPRについては、市の広報紙への毎月の掲載やホームページの利用はもちろん、市では、初の試みとなるFacebookを立ち上げ、「JR穂積駅圏域拠点化構想協議会」としてお知らせをしている。このFacebookでは、本事業の取組みばかりでなく、市内の飲食店の情報等も掲載している。「市の魅力の情報発信」の趣旨とともに、「駅からのアクセス」という面から、穂積駅周辺を盛り上げている。また、ワイワイ会議については、駅周辺の自治会へ回覧や掲示板への掲載を依頼し、地域の参画を呼びかけている。空きスペースについては、商工会事務局にもお知らせし、参加を呼びかける等の活動をした。</p>		

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

		<p>・出店2店というのが、何をした事による効果なのか？ ⇒出店2店については、1店は、本巢縦貫道沿いの雑貨屋で、こちらは、本事業で実施した空き店舗利活用事業をきっかけに事業を継続している。当初30万円を補助し、店舗を開設し、4月からは独立して店舗経営を行っているので、本事業が直接的なきっかけになっているといえると思われる。2店目については、本事業にて開催した「第1回ほづみ夜市」に出店後、市役所近辺で飲食店を開店された。こちらの店舗は、その後「第2回ほづみ夜市」にも出店いただいている。</p>
--	--	---

総合戦略事業

H28

諮問事業(H28年度実施分)

(H28)03(広域公共交通ランドデザイン策定によるまちの賑わいの創出事業)

所管

総務課

重点施策該当 - まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(2).公共交通の充実

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通会議、アンケート調査等を通して市民のニーズを把握し、路線体系を見直します。 	
	2市2町（瑞穂市、本巣市、大野町、北方町）の広域公共交通ランドデザインの策定	

主な事業	広域公共交通ランドデザイン策定によるまちの賑わいの創出事業	北方町への負担金 6,960千円
------	-------------------------------	------------------

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	●広域公共交通ランドデザイン等検討事業 (地方創生加速化交付金事業：広域連携事業)	6,960				

目標指標		単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
市内バス路線の利用者数の増加		人	39,263	39,407	増加	-
住みやすさの評価・居任意向「ずっと住みたい+当分は住んでいたい」		%	55.3	79.4	60	-

自己評価	目標達成に効果があった	平成27年度と比較すると144人増加しており、利用者は順調に伸びていると思われる。更なる利便性の向上、利用者増を目指して路線の見直し、検討業務を実施した。
------	-------------	---

外部評価 (担当課記入不要)	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり 総合戦略9
-------------------	-------------	----------------------

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合戦略	広域公共交通グランドデザイン策定によるまちの賑わいの創出事業	担当課	総務課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住意向調査結果は、成果達成と見なせる。 ・ 利用者増加、評価UPの効果が出ている ・ よく分析されている。 ・ 2市2町のグランドデザインは効果的である。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋通勤者がバスを利用するには最終バスが早すぎる。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス利用者増加は、人口増加と誤差範囲内？ ・ 20時ごろまで便があればもう少し利用者が増えるかもしれない。 ・ バス運営は学生サラリーマンの重点も大事だが、高齢者に対する配慮も必要 ・ 今後交通体系が変化するなかで、よく検討してほしい。 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の施策実行が重要 <p><KPI（目標指標）について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H32年度目標が低いが見直しは必要ないか。⇒KPIの変更予定なし。 		
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度と比較して利用者が増えているのはなぜか？ ⇒平成27年度と比較して人口は、瑞穂市は0.6%増だが、2市2町全体では0.1%減のため、利用者の0.4%増はバス事業者の利用促進策（一般路線の1日乗車券、免許返納者への割引運賃等）の結果と考えている。 	<p>参考 平成27年度末→平成28年度末</p> <p>瑞穂市：53,599人→53,909人(+0.6%)</p> <p>本巣市：35,020人→34,803人(-0.6%)</p> <p>大野町：23,699人→23,371人(-1.4%)</p> <p>北方町：18,252人→18,352人(+0.5%)</p> <p>2市2町：130,570人→130,435人(-0.1%)</p>	

総合戦略事業

H28

諮問事業(H28年度実施分)

(H28)04(公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業)

所管

総務課

重点施策該当 - まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(2)公共交通の充実

施策の内容
 ・地域公共交通会議、アンケート調査等を通して市民のニーズを把握し、路線体系を見直します。
 将来的に持続可能で効率的な公共交通の実現を目指すため、
 ・広域公共交通検討業務委託（現状把握、ニーズ把握、広域公共交通導入検討、打合せ、報告書作成）を実施。（瑞穂市・安八町）

主な事業
 広域公共交通検討業務
 地域間幹線バス導入検討業務委託（契約額3,240千円）のうち瑞穂市負担分 450千円

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	●地域間幹線バス導入検討業務	3,240	●広域公共交通導入検討業務	8,759	●交流イベントの実施	3,000
		●バック商品開発等営業	1,300	●バス沿線を舞台とした活動補助	300	
		●運行開始セレモニーイベント実施	1,000	●バック商品開発等営業	200	
				●クラウドファンディング	500	
				●2市町公共交通会議運営	200	
				●新規バス試験運行	15,119	

目標指標		単位	現状値（計画策定時）	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
穂積駅の乗車人数（1日平均）		人	8,803	8,923	9,500	-

自己評価
 目標達成に効果があった
 新規に安八町と穂積駅をバスで結ぶことにより、穂積駅の利用者増とそれによる瑞穂市の発展を図るため、バス運行に向けた検討、協議を推進する。

外部評価
 (担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 コメントは別紙のとおり
 総合戦略10

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合戦略	公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業	担当課	総務課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果が興味深い ・現状把握、ニーズ把握などよく考えて出来ている。 ・非常にわかりやすく計画につなげていける。 ・通学の方の検討もされているのが良い 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標が穂積駅乗車人数となっているが、まだバス運行してないので、指標としてふさわしくない。 ・利便性は良くなるが、採算はどうか不透明 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的視点に立ち、目標達成を考えないとならない。 ・乗車人数増加、各方面へのニーズ調査が必要。 ・市内交通網を再考察が必要。 ・バスは企業運営になると思うが、赤字が出た場合は市として補助するのか検討が必要 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を十分に生かし、将来的な「穂積駅利用者」の獲得を行うべき。 ・今後のバスの活用は増加すると思われるので、特に高齢者だけでなく、活用できる方法を模索しているので是非実現して欲しい。 		
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の見込みがあるか？ ⇒平成28年度に実施したアンケート結果を用いてモデルを構築し、需要人数を予測。 ・ほとんど「空」でバスが運行することにならないか？ ⇒幹線バス導入時は試験運行とし、需要人数と実際の乗車人数との比較を実施する予定。 		

総合戦略事業

H28

諮問事業(H28年度実施分)

(H28)05(ICT活用による地域ケアネットワーク・地域包括ケアネットワーク構築事業)

所管

地域福祉高齢課

重点施策該当 - まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(4)地域の福祉・医療体制の充実

施策の内容
 ・高齢者情報のデータベース化等により、地域包括ケアに必要な情報ネットワークを構築します。
 市、地域包括支援センター、在宅介護支援センターのみを結ぶICTネットワークシステムを構築し、現在、紙で行っている情報共有をリアルタイムに行うために、
 ・在宅訪問事業者システムの構築 ・システムサーバー等の整備を実施。

主な事業
 ①在宅訪問事業者システムの構築
 ②システムサーバー等の整備
 ①システムサーバー等整備 799千円
 ②在宅訪問事業者共有システム構築、データ移行業務 1,577千円

年度別実施計画	28年度(実績)		29年度(計画)		30年度(計画)	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
共有システムの構築業務委託	1,577					
共有システム搭載機器整備	799					

目標指標		単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
在宅介護支援センターの相談員数		人	4	5	8	-
本システムを使って就労した高齢者の数		人	0	0	延べ34	-

自己評価
 目標達成に効果があった
 平成29年3月末にシステムが稼動。今後は、本システムを利用し高齢者の就労等につなげる運用を進める。

外部評価
 (担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 コメントは別紙のとおり
 総合戦略 1.1

第2回総合計画等評価審議会 評価まとめシート(H28年度分)

事業	総合戦略	ICT活用による地域ケアネットワーク・地域包括ケアネットワーク構築事業	担当課	地域福祉高齢課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29年3月末システム稼動のため、今後の運用に期待。 ・ 高齢者のために、更に推進して欲しい。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的計画がない。 ・ わかりづらい 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状は「ハコモノ」このシステムをどのように有効利用するか。 ・ きちんとした見通しを持って運用すべき ・ 高齢者と子どもの健康を考えること ・ 地区によっては民生委員の活動が低下していると感じるので、高齢化社会となり社会福祉協議会の活動支援も大事 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ システム稼動はこれからだと思うが、就労など使い方をしっかり検討いただきたい。 		
	主な質疑とそれに対する回答			